

■過去の配信

テ ー マ	コロナ禍における会社法実務の論点整理
講 師	弁護士 阿南 剛 (東京弁護士会)
所要時間	全約51分 (全3回)
概 要	コロナ禍においては、株主総会、取締役会及び監査役会などの実務で様々な論点が浮上しました。今後のコロナ禍での実務に活かして頂くと共に、従来の実務の見直しの契機として頂くため、これら実務上の論点を振り返り、その根拠や原理原則に振り返って整理いたします。
テ ー マ	新型コロナウイルス対応に関する人事労務上の諸問題
講 師	弁護士 薮島 啓介 (第二東京弁護士会)
所要時間	全約70分 (全4回)
概 要	コロナ禍によって発生した様々な人事労務上の問題には、労働法の原理原則や判例の考え方といった法的な根拠に基づいて対応することが肝要です。本セミナーでは、コロナ禍のもとでの従業員の勤務体制に関する問題や労働条件をめぐる問題等につき、労働法に馴染みのない方にもご理解いただけるように、法的な考え方を分かりやすく解説いたします。
テ ー マ	コロナ禍における M&A の工夫
講 師	弁護士 後藤 高志 (第二東京弁護士会)
所要時間	全約50分 (全3回)
概 要	コロナ禍は M&A を実行するチャンスとも言えますが、一方で将来の不透明さに起因して平時の M&A よりも判断が難しくなりがちです。本セミナーでは、①平時 M&A における役員責任の基本的な考え方を復習する、②基本的な考え方を踏まえて、コロナ禍の M&A が難しい理由を理解する、③コロナ禍でも M&A を積極的に実行するための実務上の工夫を理解する、の3点について簡潔に解説いたします。
テ ー マ	コロナ禍における裁判所 (第1回)
	コロナ禍における事業再生 (第2・3回)
講 師	弁護士 河西 一実 (第二東京弁護士会)
所要時間	全約40分 (全3回)
概 要	まず、コロナ禍で裁判所でも動いている手続と滞留してしまっている手続があります。司法統計と講師の実体験をもとに裁判所の今をご説明いたします。次に、コロナ禍において自社や取引先の資金繰りが苦しくなることがあると思います。その時にとることができる手段について、収入面と支出面からポイントをご説明いたします。

テーマ
講師
所要時間
概要

コロナ禍における業務委託契約の実務（システム開発契約を中心として）
[弁護士 高橋 元弘](#)（東京弁護士会）
全約30分（全3回）
緊急事態宣言下で生じた業務委託契約に関わる事態は、契約書でも想定していないような問題でした。本セミナーでは、そのような問題について、検討すべき法的な観点を整理してご提示いたします。

テーマ
講師
所要時間
概要

コロナ禍における金融機関の対応や事業会社による金融機関との付き合い方
[弁護士 鈴木 正人](#)（第一東京弁護士会）
全約60分（全3回）
金融機関は、コロナ禍において金融仲介機能の発揮を行うとともに経営改善・事業再生支援等に取り組み、コロナと戦い、経済の力強い回復を支えることが期待されています。本セミナーでは金融当局の動向を踏まえ、コロナ禍における金融機関の対応について解説いたします。金融機関との付き合い方を知る上で事業会社にも参考になるポイントを説明いたします。

テーマ
講師
所要時間
概要

コロナ禍で加速したDXとデータ法制
[弁護士 藤本 知哉](#)（第一東京弁護士会）
全約30分（全2回）
コロナ禍の影響を受けて、デジタル・トランスフォーメーション（DX）が加速しています。今後さまざまな新しいサービスや解決すべき法的課題が出てくることと思われませんが、このタイミングで、DXの根幹となるデータの利活用に適用される法規制を概観いたします。

テーマ
講師
所要時間
概要

新型コロナウイルスにかかる法務対応と個人情報
[弁護士 安達 裕](#)（第一東京弁護士会）
全約40分（全3回）
コロナウイルスに関する個人情報の取扱いは、コロナウイルス感染者が発生したという緊急時に問題が集中する特徴があります。本セミナーでは、そのような緊急時の対応の前提として、想定されうる個人情報保護法及びプライバシーに関わる論点を網羅的に解説いたします。